2023.4.24.

令和５年度事業計画(案)

（２０２３年４月１日～２０２４年３月３１日）

＜基本方針＞

ものづくり製造事業並びに地域の中核を担う中小企業を対象に、事業経営に関する具体的な支援活動を行う。
・事業化への諸課題解決　・研究開発　・資金調達　・ネットワーク形成

ネオマテリアル研究会は２００２年第Ｉ期産業クラスターにおいて、近畿地域の産官学連携体制のもと、ものづくりに必要な材料に関する幅広い研究会として発足しました。企業・大学・公的機関が協働で広域的な産業集積を図ることを目指して、地域の中堅中小企業の事業活動を支援してきました。

運営の基本は「参加企業の新しい取り組みを応援し、地域の活性化を図る」をモットーに、コーディネータ(正会員)による事業化支援活動にあります。

ネオマテリアル研究会を運営する正会員は、当研究会の活動を積極的に支援していただいている賛助会員並びに関係する中小企業と密接な連携のもと、参加企業の新しい取り組みや課題解決にお役に立つように活動を推進して参ります。

＜実施項目＞

活動目標は持続的に以下の５項目を対象にしている。

1)情報提供；公募情報、展示会・セミナー案内、省庁・自治体情報をメール並びにHPを通じて発信
2)ネットワーク形成；ミニセミナー開催、近畿経済産業局・大阪商工会議所、大阪府等と情報交換、協力機関セミナー紹介・参加
3)研究開発支援；研究開発方向付け、専門機関紹介、技術相談　等
4)事業化支援；賛助会員への具体的サポート、現場支援会議、販路開拓支援、賛助会員相互情報交換等
5)資金調達；補助事業申請支援(事業再構築＆もの補助)、経営革新計画作成

＜今年度方針＞

①基本的考え

1.短期的には賛助会員が抱える固有課題の解決を積極的に支援する。
また**対応が必須の諸課題※**(事業効率化、セキュリティ対策等)については、関係公的機関の協力のもとに賛助会員を支援する。

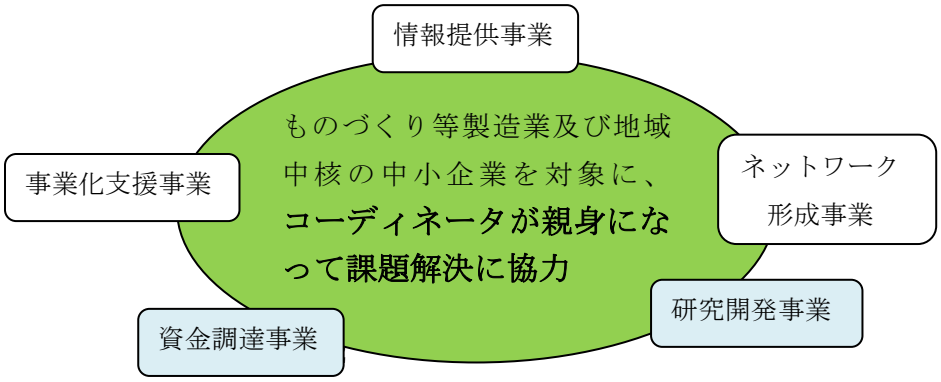
2.中期的には経営革新、事業継続力強化、経営力強化等の**経営計画の策定**にも協力し、それに基づく**研究開発事業と資金調達事業に**取り組む。

②具体的活動

1.個々の重点課題の解決
賛助会員の抱える課題に対して特別解を提案する。
1)主担当コーディネーターが中心となり賛助会員と密な情報交換を行い、当該会員の重点課題について 1 年間継続的検討を行う。
N.B.この一対一で得られた課題の中から 1 対 N となる課題を抽出し、次年度以降に取り上げる。
2)「賛助会員サポート履歴」に報告し、情報を共有※

2.共通活動
1)本会の存在意義を高めるために、**セミナーや見学会等の行事**を開催する。
賛助会員が強い関心を持つテーマについて、賛助・正会員が協同で企画する。
※例えば　・業務効率化(DX)　・セキュリティ　・工場見学
2)税制や公募情報等の重要情報は、メルマガ、HP を通じて、積極的に発信する。
・会員別に関心の強い選択情報を提供

③効率的組織運営

1.正会員の交流を密にして、賛助会員に関する情報を共有化して、組織として企業の抱える課題解決を図る。
・賛助会員サポート履歴
・正会員会議 5 回開催

2.賛助会員相互の交流促進に努め、協業化の礎を築く。